

都市再生整備計画 事後評価シート
本庁舎周辺地区

令和5年12月

福井県越前市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県	市町村名	越前市	地区名	本庁舎周辺地区		面積	210ha		
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	2,834百万円	国費率	0.499			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路:市道第1122号線整備事業、市道第1070号線整備事業、市道第1802号線整備事業 地域生活基盤施設:広場(本庁舎交流広場)、広場(北府駅鉄道ミュージアム) 街なみ環境整備事業:街なみ景観整備助成事業(総社通り地区) 地域創造支援事業(居住支援):まちなか居住推進事業							
		提案事業								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路:市道第1086号線整備事業 高質空間形成施設:蔵の辻(広場)	市道第1086号線整備事業:地権者との交渉が難航したため中止した。 蔵の辻(広場):地元調整が難航したため中止した。	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					影響なし
		提案事業	なし							
		基幹事業	道路:市道第2804号線整備事業 道路:市道第1114号線整備事業 道路:市道第1131号線消雪施設	歩道整備や消雪整備を行い、居住環境の向上を図るとともに、中心市街地や区域内の(仮称)市民センターや武生中央公園、紫式部公園等の各施設へのアクセス向上、歩行者の安全性の確保、歩行者ネットワークを形成するため事業を追加する。	各施設へのアクセスが向上することで、市民交流施設の利用者数の目標値達成及び、地区内人口比率の維持に寄与する。					
		基幹事業	公園:武生中央公園 公園:紫式部公園	住民のレクリエーションや子育て、交流の場となっている都市公園の施設整備を行い、居住環境の向上を図り、観光資源である武生中央公園や紫式部公園の魅力を上向きさせるため事業を追加する。	居住環境向上が図られ、地区内人口比率の維持に寄与し、観光入込客数の目標値達成に寄与する。					
		基幹事業	地域生活基盤施設:地域防災設備(備蓄倉庫)	武生中央公園は、越前市地域防災計画の避難地及び救援物資、支援員等の受け入れ場所に指定されている。これまでは、公園に隣接する倉庫に格納されていたが、公共施設の再編に伴い観光交流センターと合築することとなった。このため、備蓄倉庫を追加する。	地区内人口の比率の維持に寄与する。					
		基幹事業	地域生活基盤施設:駐車場	新庁舎建設計画に伴い分庁舎が統合され廃止となるため、跡地利用についての検討が行われていた。その結果、まちなか散策や商店街等を利用する来訪者のための駐車場を整備することとなった。	観光入込客数の増加に寄与する。					
		基幹事業	高質空間形成施設:駐車場修景施設	分庁舎跡地に整備される予定の駐車場施設は、国の登録有形文化財に登録されている公会堂記念館に隣接している。この建築物と調和のとれた空間を形成するため、植栽やブロック塀の化粧等を施す。	観光入込客数の増加に寄与する。					
		基幹事業	高質空間形成施設:シンボルロード((都)武生中央線)	当該道路の4車線から2車線化(広幅員歩道の確保)に伴い、北側に接する本庁舎前広場との一体的な利活用や、JR武生駅と総社大神宮を結ぶ道路として国府の歴史を感じ、歩行者にとって居心地の良い空間を形成するため、高質化を図る。	イベント回数の増加に寄与する。					
		基幹事業	高質空間形成施設:歩行空間整備	公共交通機関のJR武生駅やバス停と市民交流施設である庁舎前広場や生涯学習センター、(仮称)市民センターとの歩行者動線を確保し、周遊性を向上させるため、事業を追加する。	市民交流施設へのアクセス性が向上するため、市民交流施設の利用者数の目標値達成に寄与する。					
		基幹事業	高次都市施設(観光交流センター):観光交流センター	前計画の武生北部地区都市再生整備計画により再整備された武生中央公園がフォローアップの結果、H30年度に約104万人が訪れていることが分かった。この来訪者を周辺施設へ誘導し、地区内の賑わい創出に波及させるため、観光情報の提供や歴史・伝統を紹介、体験が行える観光交流センターを追加する。	新たに観光入込客数の指標を追加し、入込客数の増加に寄与する。					
		基幹事業	既存建築物活用事業:地域交流センター((仮称)市民センター) 既存建築物活用事業:子育て世代活動支援センター((仮称)市民センター)	当該施設は4階建ての建物で、1階から3階を商業施設として、4階を越前市福祉健康センターとして運用していたが、売り場面積の縮小により3階部分が平成29年度に閉鎖された。これを受けて、今後の利活用を検討した結果、地域交流センター及び子育て世代活動支援センターを整備することで、市議会の合意が得られたため、交付対象事業に位置付けて実施し追加する。	市民交流施設が増床し、利用者数が増加することが期待されるため指標1を上方修正する。					
提案事業	地域創造支援事業(施設整備):オープンシェアオフィス整備事業	当該施設は4階建ての建物で、1階から3階を商業施設として、4階を越前市福祉健康センターとして運用していたが、売り場面積の縮小により3階部分が平成29年度に閉鎖された。これを受けて、今後の利活用を検討した結果、地域交流センター及び子育て世代活動支援センターを整備することで、市議会の合意が得られたため、交付対象事業に位置付けて実施し追加する。	市民交流施設が増床し、利用者数が増加することが期待されるため指標1を上方修正する。							

	提案事業	地域創造支援事業(都市再生):武生中央公園における遊戯施設活用事業	令和4年度の北陸新幹線開業に向けて、武生中央公園の魅力を高め、さらなる来訪者を中心市街地に誘引することを目的に、新たな遊戯施設を整備する。				観光入込客数の増加に寄与する。								
	提案事業	地域創造支援事業(都市再生):オープンスペースを活用した賑わい創出事業	武生中央公園は、年間100万人を超える来訪者が訪れるが、気温に左右される夏季と冬季の訪者数が少ないことと周辺施設への波及が少ないことが課題となっている。これらを解消するため、季節毎の特色を活かしたイベントやまちなかを周遊するイベント及びオープンスペースに移動式コンテナを整備する。				観光入込客数の増加とイベント回数の増加に寄与する。								
交付期間の変更	当初変更	平成30年度～令和4年度	なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1	市民交流施設の利用者数	人/年	65,707	H27年度	108,000	R4年度	モニタリング	評価値	174,367	○	あり なし	- -	本庁舎交流広場整備事業や地域交流センター・オープンシェアオフィス、子育て世代活動支援センターの整備を実施したことで、利用者数増加につながり、本庁舎建設をまちなか再生の契機としたまちの顔づくりの推進に寄与した。	
	指標2	市全体の人口に占める地区内人口の比率	%	6.67	H29年度	6.67	R4年度			6.10	△	あり なし	● -	(仮称)市民センター(地域交流センター、子育て世代活動支援センター)、公園等の整備の他、まちなか居住推進事業等を行ったことで一定の成果が見られたが、依然として人口減少が止まず目標値は達成できなかった。	
	指標3	活性化に寄与するイベントの回数	回/年	58	H27年度	96	R4年度			100	○	あり なし	- -	地域住民や観光客等の交流・活動の場として庁舎前広場や武生中央公園等の機能拡充等を実施したことで、イベント数の増加につながり、歴史文化や伝統産業を活かしたにぎわいの再生に寄与した。	
	指標4	観光入込客数	万人/年	243	H30年度	260	R4年度			246	△	あり なし	● -	武生中央公園、てんくちやん広場の整備等や、紫式部公園の整備、街なみ環境整備事業(総社通り地区)等を実施したことで観光入込客数増加に繋がりが、来訪者をまちなかの観光資源や施設へ誘客する効果が見えたが、コロナ影響もあり、目標値を達成することはできなかった。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
その他の数値指標1															
4)定性的な効果発現状況	<p>・オープンシェアオフィスには、市民団体等が10団体入り、日常的に市民団体等が広く交流・活動することを促進した。</p> <p>・まちなかイベントサポート事業(まちづくり武生株式会社)において、イベント実施団体への継続した支援の取組みと、令和3年度に供用開始した庁舎前広場を始めとした、イベントに活用しやすい環境整備を進めている。</p> <p>・北府駅鉄道ミュージアム整備事業に伴い、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施した結果、目標としていた金額を大きく上回り、住民のまちづくりに対する機運の向上や、まちづくり活動に参加する地域住民・団体、民間企業等の増加に寄与できた。</p>														
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	官民連携による取組	総社通り景観協議会運営委員会の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地区計画、建築協定等と連携した景観形成の推進を行う						
	持続的なまちづくり体制の構築	総社通りの地域住民が参画する地域まちづくり推進団体の形成			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域街づくり推進団体をはじめ、地域街づくりに関して自主的な活動を行うものに対して、情報の提供や技術的な支援などを行う						

様式2-2 地区の概要

本庁舎周辺地区(福井県越前市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:多様かつ高次な都市機能を提供する中心拠点の形成 目標1:本庁舎建設をまちなか再生の契機としたまちの顔づくり 目標2:住みやすい暮らしの再生 目標3:歴史文化や伝統産業を活かしたにぎわいの再生	市民交流施設の利用者数	単位:人	65,707	H27	108,000	R4	174,367	R4
	市全体の入口に占める地区内入口の比率	単位:%	6.67	H29	6.67	R4	6.10	R4
	活性化に寄与するイベントの回数	単位:回	58	H27	96	R4	100	R4
	観光入込客数	単位:万人	243	H30	260	R4	246	R4

市道第1802号線整備事業

北府駅鉄道ミュージアム整備

オープンシェアオフィス整備事業

市道第1114号線整備事業

市道第1070号線整備事業

**地域交流センター
(仮称)市民センター**

市道第1131号線消雪施設

市道第1122号線整備事業

**子育て世代活動支援センター
(仮称)市民センター**

武生中央公園整備事業

**武生中央公園における
遊戯施設活用事業**

ハローワーク武生移転事業

**観光交流センター
地域防災施設(備蓄倉庫)**

歩行空間整備

市道第1801号線整備事業

**駐車場
駐車場修景施設**

本庁舎建設事業

市道第2804号線整備事業

都市再生整備計画区域:

- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 用途地域指定なし(各種準200)
- 防火地域
- 準防火地域
- 都市計画道路(形状)
- 都市機能誘導区域1
- 居住誘導区域1

市道第1122号線整備事業

道路整備事業

北府駅整備事業

街なみ環境整備事業

本庁舎交流広場整備事業

市道第1021号線整備事業

市道第1805号線整備事業

民間病院建替事業

シンボルロード((都)武生中央)

紫式部公園

藤波亭整備事業

まちの課題の変化

- ・本庁舎周辺の狭い道路の車道を拡幅したことにより、郊外部からのアクセス性向上と市街地内の回遊性が向上した。
- ・地域交流センターや子育て世代活動支援センターの整備により、親子をはじめ多世代の市民が憩い、交流を図る場が創出された。
- ・まちなかや武生中央公園のアクセス道路並びに生活道路において、消雪ポンプの改修を行ったことで、冬期間におけるアクセス性や居住環境(安全に歩ける道路環境)が向上した。
- ・市民や観光客が日常的に憩える広場の整備(庁舎前広場、武生中央公園の整備等)や、歴史的町並みの景観保全や修繕整備(紫式部公園の整備、街なみ環境整備事業(総社通り地区)等)を行い、にぎわいの創出とまちなか観光が推進された。
- ・地区内人口の減少傾向は改善されていないことから、今後も定住に向けた取組みを継続する必要がある。
- ・北陸新幹線金沢～敦賀駅間開業の効果を活かした地域の観光振興や市民や来訪者の多様な交流を促進する空間づくり、環境整備が必要である。
- ・北陸新幹線金沢～敦賀駅間開業(JR北陸線の並行在来線化)を契機とした二次交通の充実により、武生中央公園や紫式部公園といった観光拠点等へのアクセス性を向上させる必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・JR北陸線の並行在来線化を契機とした公共交通の利便性向上(交通結節機能の強化、二次交通の充実等)
- ・交通結節拠点や都市機能にアクセスする道路整備、冬期間の安全な通行を確保する道路整備
- ・市民の日常的な憩い・交流の場となる公園施設の機能充実
- ・まちなか居住とまちなかにおける多様な交流を促進する取り組みの推進
- ・観光資源の磨き上げや伝統産業等を活用したイベントの充実による産業観光の推進
- ・二次交通の充実やまちなか周遊観光の推進